

愛知県山岳連盟 第20回遭難を考える講演会  
「岐阜県における山岳遭難の実態～北アルプスの遭難救助現場から～」レポート

2016年11月25日(金曜日)、愛知県スポーツ会館/大会議室において、第20回遭難を考える講演会を開催しました。参加者人数は、講師、役員および参加者(岳連会員、一般)を含めて、総勢43名でした。

今回は、岐阜県警察航空隊(山岳警備隊)所属の川地昌秀氏を講師に迎え、以下の3項目についてお話していただきました。

- 1.山岳遭難 概況と事故の態様について
- 2.山岳遭難事故事例 ①春の北ア/穂高岳・ジャンダルム②春の郡上/野伏ヶ岳③夏の北ア/西穂高岳
- 3.山岳遭難を防ぐために

山岳遭難の最前線で救助活動を実践・指揮されている川地氏からの、リアリティー溢れるお話にいつのまにか気持ちが傾いていきました。

山岳遭難を防ぐためには①無理のない登山計画の作成と計画書の提出②危険個所の事前把握③的確な状況把握と行動の決断④信頼できるリーダーと複数人で行動することなどが大切であると痛感しました。

